

J11845
改訂版 V3
2016年7月



IN SEARCH OF INCREDIBLE

ユーザーマニュアル

ASUS

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの喪失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2016 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。

<http://www.asus.com/jp/support/>

もくじ

本マニュアルについて	7
このマニュアルの表記について	8
アイコン	8
表記	8
安全上の注意	9
ASUSタブレットとASUSモバイルドックを使用する	9
本製品のお手入れ	10
廃棄・リサイクルについて	11

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

上部	14
ASUSタブレットの機能	16
正面/背面	16
底面	21
ASUS Pen (特定モデルのみ)	22
電池の挿入	22
ASUSモバイルドックの機能	23
上部	23

Chapter 2: ASUSタブレットとASUSモバイルドックを使用する

使用の手引き	26
ASUSタブレットをASUSモバイルドックにドッキングする	26
ASUSタブレットを充電する	27
ディスプレイパネルを持ち上げる	29
電源ボタンを押す	29
タッチスクリーンパネルとタッチパッドの操作	30
タッチスクリーンパネルでのタッチ操作	30
ASUS Quick Launch	33
タッチパッドの操作	34
キーボードを使用する	41
ホットキー	41
Windows® 10キー	42

Chapter 3: Windows® 10環境で使用する

初めて使用する	44
スタートメニュー	45
スタートメニューを起動する	46
スタートメニューからプログラムを開く	46

Windows® アプリ	47
Windows®アプリと一緒に使用する	48
Windows®アプリのカスタマイズ	48
タスクビュー	51
スナップ機能	52
スナップホットスポット	52
アクションセンター	54
その他キーボードのショートカット	55
ワイヤレスネットワークへの接続	57
Wi-Fi	57
Bluetooth (特定モデルのみ)	58
航空機内での使用について	59
本機の電源をオフにする	60
本機をスリープ状態にする	61
Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)	
Power-on Self Test (POST)	64
BIOSとトラブルシューティングにアクセスする	64
BIOS	64
BIOS Setupへのアクセス	64
BIOS設定	65
システムの回復	72
回復オプションを実行する	73
Chapter 5: FAQとヒント	
安全に使用するためのヒント	76
ハードウェアに関するFAQ	77
ソフトウェアに関するFAQ	80
Chapter 6: 付録	
Internal Modem Compliancy	84
Network Compatibility Declaration	85
Non-Voice Equipment	85
Federal Communications Commission Interference Statement	87
Slave Equipment	88
RF Exposure Warning	88
FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement	89

RF Exposure Information (SAR)	89
CE Mark Warning.....	90
RF Exposure information (SAR) - CE.....	90
Caution	91
Avertissement.....	91
Wireless Operation Channel for Different Domains.....	92
France Restricted Wireless Frequency Bands.....	92
UL Safety Notices	94
Power Safety Requirement.....	95
TV Notices.....	95
REACH	95
Macrovision Corporation Product Notice	95
Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries).....	96
Optical Drive Safety Information.....	97
CDRH Regulations.....	97
CTR 21 Approval (for ASUS Tablet with built-in Modem)	98
ENERGY STAR complied product	100
技適マーク	100
日本国内での無線周波数帯のご利用について.....	100
聴覚障害を防ぐため.....	100
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について.....	101
回収とリサイクルについて.....	101
筐体のコーティングについて.....	101

本マニュアルについて

このマニュアルには本製品のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本製品のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: ASUSタブレットとASUSモバイルドックを使用する

本製品の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windows® 10環境で使用する

本機でのWindows® 10の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

POSTを使用したASUSタブレットの設定変更方法についての説明が記載されています。

Chapter 5: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 6: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注意:本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注意: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、またはASUSタブレットのコンポーネントへの損害、データの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

アイコン

タスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。



= タッチスクリーンパネルを使用します(特定モデルのみ)。



= タッチパッドを使用します。



= キーボードを使用します。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

ASUSタブレットとASUSモバイルドックを使用する



本製品は5～35℃の周辺温度でご使用ください。



入力定格は本製品の底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。



本製品の使用中は底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



破損した電源コード、アクセサリまたはその他の周辺機器を使用しないでください。



電源がオンのまま本製品を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



本製品を平らでない、不安定な場所に置かないでください。



本製品をX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。



多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本製品の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

本製品のお手入れ



本製品のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。



本製品のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



本製品の上に物を置かないでください。



本製品に強い磁気を近づけないでください。



液体・雨・湿気を避けてください。



本製品をホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。



本製品をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。

廃棄・リサイクルについて



本製品やバッテリー (該当する場合) を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

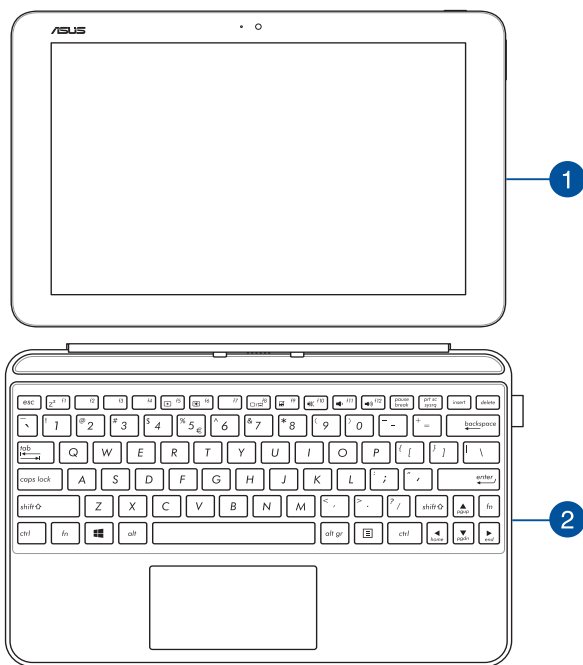
Chapter 1:

ハードウェアのセットアップ

上部

注意:

- キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。また、製品の外観はモデルによって異なる場合があります。
- ASUSモバイルドックが同梱されているモデルでは、そちらと互換性があります。



1 ASUSタブレット

ASUSタブレットはオプションのASUSモバイルドックと一体化して使用することで、ノートPCのように使用することも可能です。ASUSタブレットはタッチ操作に対応しており、単独でも使用することができます。

注意: ASUSタブレットに関する詳細は、「ASUSタブレットの機能」と「タッチスクリーンパネルとタッチパッドの操作」をご参照ください。

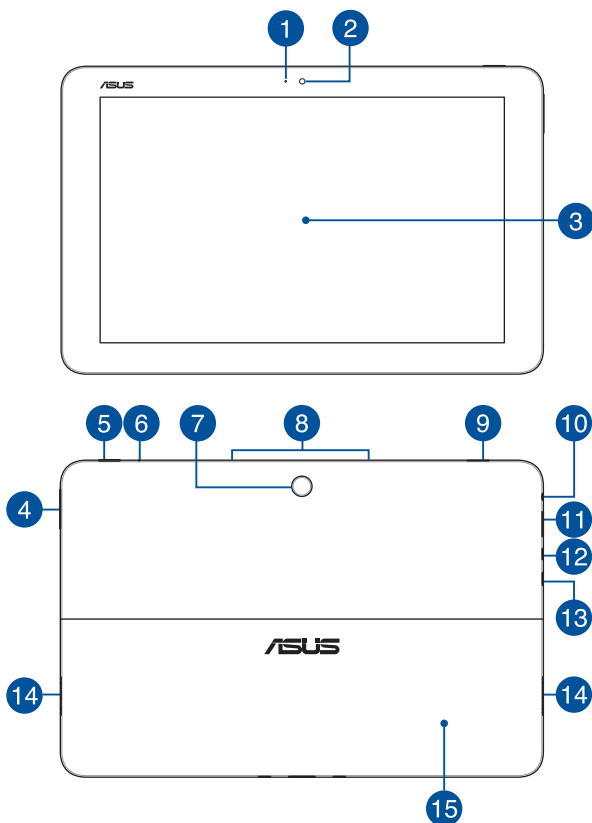
2 ASUSモバイルドック

モバイルドックには入力デバイスとして、タッチパッドとキーボードが搭載されています。

重要: ASUSタブレットとASUSモバイルドックの着脱についての詳細は、「ASUSタブレットのドッキング」をご参照ください。

ASUSタブレットの機能

正面/背面



1 カメラインジケータ

内蔵型カメラの使用時に点灯します。

2 カメラ

内蔵の2.0メガピクセルフロントカメラで、画像の撮影と動画の録画が可能です。

3 タッチスクリーンパネル

タッチスクリーンパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。タッチ操作対応ですので、タッチ操作でASUSタブレットを操作することができます。

注意: ASUSタブレットのタッチ操作については、「タッチスクリーンパネルを使用する」をご参照ください。

4 ボリュームボタン

ASUSタブレットの音量を調整することができます。

5 電源ボタン

ASUSタブレットの電源をオン、スリープモードにします。またスリープモードからウェイクアップすることもできます。

ASUSタブレットのシステムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを10秒以上押し、強制終了することができます。

重要: 強制終了により、保存が完了していない作業中のデータなどは削除される場合があります。データの損失を防ぐため定期的なシステムのバックアップを強くお勧めします。

6

バッテリーインジケータ

色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	ACアダプターがASUSタブレットに接続された状態で、バッテリーの充電レベルは95%から100%です。
オレンジ	ACアダプターがASUSタブレットに接続され充電を行っている状態で、バッテリーの充電レベルは95%未満です。
点灯しない	ACアダプターがASUSタブレットに接続されていない状態で、バッテリーの充電レベルは10%から100%です。

7 指紋センサー

指紋センサーは指紋を検出し、指紋認証によりシステムへのログインやウェイクアップを行ないます。

注意: 指紋センサーの初期設定を行なうには、「アクションセンター」→「すべての設定」→「アカウント」→「サインインオプション」を選択します。「Windows Hello」を開き、指紋認証の下の「セットアップ」の指示に従い、設定を行ないます。

※事前にサインインオプション配下のPINの設定が必要です。

8 アレイマイク

エコー除去、ノイズサプレッション、指向性録音機能を備えたアレイマイクです。音声認識性能が高くクリアな音声での録音が可能です。

9 microSDカードスロット

microSD/microSDHC/microSDXCに対応のメモリーカードリーダー用スロットが内蔵されています。

10 ヘッドホン/ヘッドセットジャック

オーディオ出力信号をアンプスピーカーやヘッドホンに接続します。また、ヘッドセットを接続することもできます。

注意: このジャックは3極3.5mmミニプラグのマイクをサポートしていません。

11 USB 3.0ポート

このUSB 3.0ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

注意: 特定のUSB 3.0デバイスから発生する高周波ノイズの干渉によって、ワイヤレスデバイスの動作が不安定になる場合があります。

12 microHDMI ポート

microHDMI対応デバイスを接続します。なお、著作権保護技術のひとつであるHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray、著作権保護コンテンツ等の再生も可能です。

13 microUSB 2.0ポート

ASUSタブレットへの電源供給とバッテリーの充電を行います。

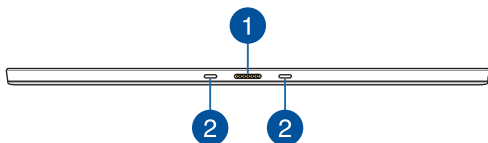
14 オーディオスピーカー

搭載のスピーカーにより、タブレットのプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。

15 キックスタンド

内蔵のスタンドでASUSタブレットを支え、画面角度を調整することができます。

底面

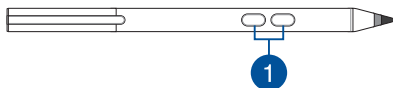


- 1 ドックポート**

このポートにモバイルドックを接続します。接続することで、モバイルドックのキーボード、タッチパッド機能がタブレットで使用できるようになります。
- 2 ヒンジホール**

ラッチフックをこのホールに挿入し、ASUSタブレットをモバイルドックに取り付けます。

ASUS Pen (特定モデルのみ)



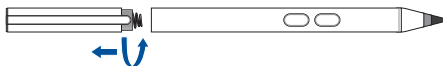
1 設定ボタン

これらのボタンで消しゴムやマウスの右クリックの機能を利用することができます。

注意: お使いのモデルやアプリにより、動作が異なる場合があります。

電池の挿入

1. スタイラスの上半分を取り外します。



2. 電池を+ と- 向きにご注意のうえ、挿入します。



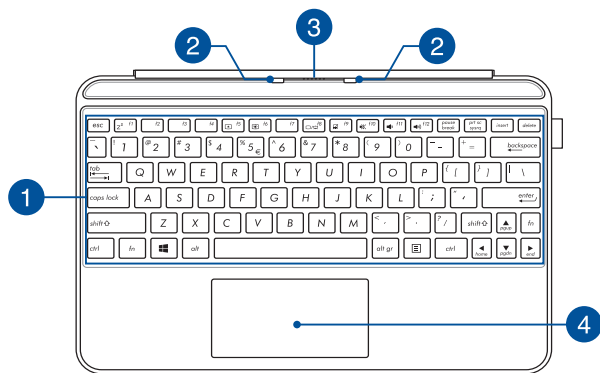
3. スタイラスの上半分を元に戻します。



ASUSモバイルドックの機能

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。

上部



1 キーボード

クオーターキー (QWERTY) 配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー <Fn>でのコマンドの実行などが可能です。

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

2

ラッチフック

モバイルドックにタブレットを固定します。

3

ドックコネクター

このコネクターの上にドックポートを合わせ、モバイルドックにタブレットをドッキングします。

4

タッチパッド

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

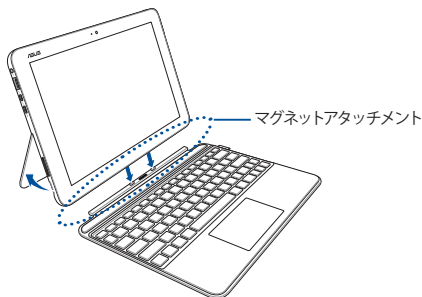
注意: 詳細は「タッチパッドを使用する」をご参照ください。

Chapter 2: ASUSタブレットとASUSモバ イルドックを使用する

使用の手引き

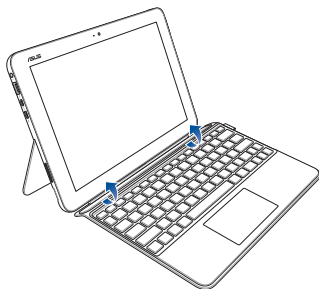
ASUSタブレットをASUSモバイルドックにドッキングする

1



警告: クレジットカードや磁気ディスク等の磁気メディア及び外付けストレージデバイス等を近づけるとそれらへダメージを与える場合があります。できる限り近づけないようしてください。

2



警告: 上記のように、ASUSタブレットをASUSモバイルドックにドッキングしてください。誤った方法でドッキングすると、本製品の故障や不具合の原因となる場合があります。

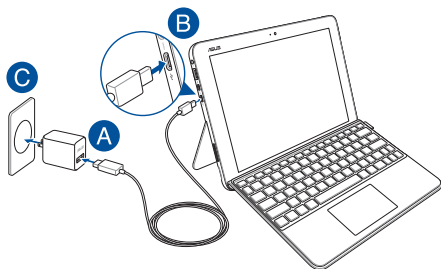
ASUSタブレットを充電する

- A. ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続します。
- B. microUSBコネクタをASUSタブレットに差し込みます。
- C. 電源コンセントにACアダプターを接続します。



初めてバッテリー電源でASUSタブレットを使用する際は、十分に充電してから使用してください。

注意: モデルによってACアダプターの外観/仕様は異なる場合があります。充電の際は、付属の電源アダプターを使用してください。



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
 - 入力周波数: 50-60Hz
 - 定格出力電流: 2A
 - 定格出力電圧: 9V (18W)
-

重要:

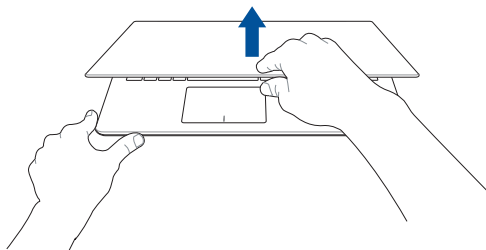
- 入出力定格はASUSタブレット本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
 - ASUSタブレットの電源を初めてオンにするときは、電源アダプターがASUSタブレットに接続されていることをご確認ください。ASUSタブレットを電源アダプターに接続しているときは、壁面などの固定電源コンセントの電源の使用をお勧めします。
 - ASUSタブレットを電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
 - 主電源からASUSタブレットを切断するには、電源コンセントからASUSタブレットの電源コードを抜いてください。
-

警告

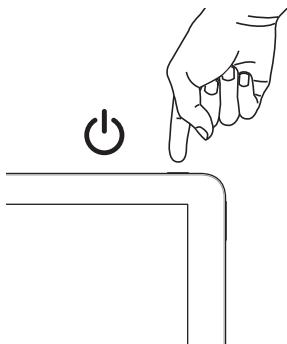
ASUSタブレットのバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができます (非着脱式バッテリーのみ)。
 - 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
 - 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
 - ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱の恐れがあります。
 - バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
 - バッテリーの回路をショートさせないでください。
 - バッテリーを分解または改造しないでください (非着脱式バッテリーのみ)。
 - 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
 - バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
 - バッテリーおよびその他の部品は、子供の手に届かない場所に保管してください。
-

ディスプレイパネルを持ち上げる



電源ボタンを押す



タッチスクリーンパネルとタッチパッドの操作

プログラムの起動、ASUSタブレットの各種設定を行います。タッチスクリーンとタッチパッドの操作方法は次のイラストと説明をご参照ください。

注意: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

注意: 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。タッチスクリーンパネルの外観はモデルにより異なります。

タッチスクリーンパネルでのタッチ操作

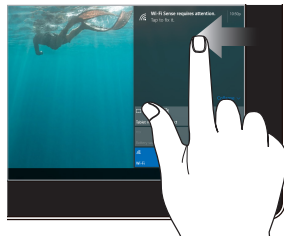
タッチ操作でプログラムの起動やASUSタブレットの設定を行うことができます。各機能はASUSタブレットで有効にすることができます。

左側からなぞる



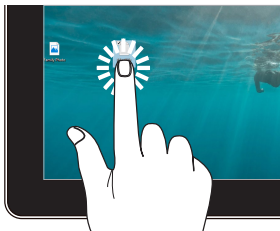
画面を左側からなぞり、タスクビューを起動します。

右側からなぞる



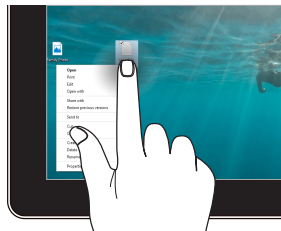
画面を右側からなぞり、アクションセンターを起動します。

タップ/ダブルタップ



- アプリをタップし選択します。
- アプリをダブルタップし起動します。

長押し



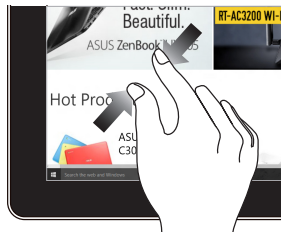
長押しし、右クリックメニューを開きます。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

ズームアウト



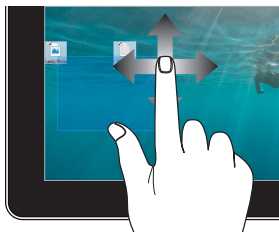
2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

指でのスライド



指を上下になぞると上下方向へのスクロール、左右になぞると左右へのスクロールができます。

ドラッグ



- ドラッグすると、複数の項目で選択ボックスを作成することができます。
- 項目をドラッグ&ドロップし、新しい場所に移動することができます。

ASUS Quick Launch

次の簡単な操作で、ASUSタブレットでのアプリの起動やアクションの実行を簡単に行なうことができます。

操作	既定のアクション
C	Excelを起動
W	Edgeを起動
V	Videoを起動
E	Emailを起動
S	Musicを起動
5本指で掴む	スリープモードに移行
デスクトップ上をダブルタップ	スリープからウェイクアップ

重要: ASUS Quick Launch機能の操作を行なう際は、ASUSタブレットと底部のドックポートの位置が水平になるようにしてください。

注意:

- スリープモードからウェイクアップする場合は、デスクトップの何も無い領域をダブルタップしてください。
- 特定のアプリでは文字入力による操作はデフォルト設定で無効になっています。設定を変更する場合は、「ASUS Quick Launchアプリのカスタマイズ」をご参照ください。

ASUS Quick Launchアプリのカスタマイズ

- 「**スタートボタン**」→「**すべてのアプリ**」→「**ASUS Quick Launch**」の順にクリックします。
- スライダーを移動し「**全ての機能**」のオン/オフを切り替え、チェックボックスにチェックし有効/無効を切り替えます。
- 「**詳細設定**」で対応アプリの設定を変更します。

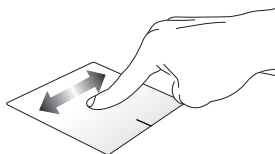
タッチパッドの操作

注意: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

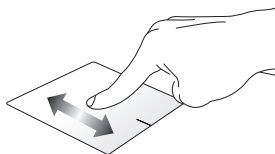
ポインタの移動

タッチパッド上をタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインタを移動することができます。

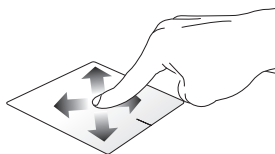
水平にスライド



垂直にスライド

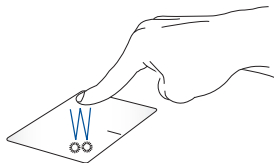


対角線上にスライド



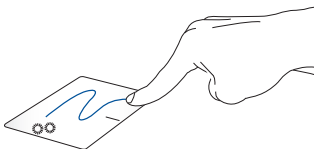
指1本での操作

タップ/ダブルタップ



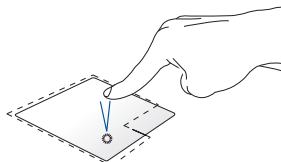
- アプリをタップし選択します。
- アプリをダブルタップし起動します。

ドラッグ&ドロップ

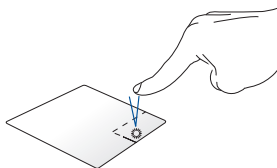


項目をダブルタップし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

左クリック



右クリック

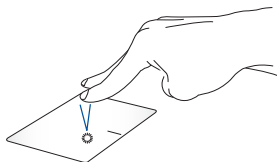


- アプリをクリックし選択します。
- アプリをダブルクリックし起動します。

このボタンを使用して、右クリックメニューを開きます。

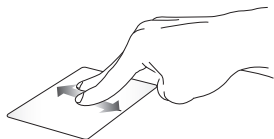
指2本での操作

タップ



指2本をタッチパッド上でタップすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

指2本でのスクロール(上下)



指2本で上下になぞると、ウィンドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール(左右)



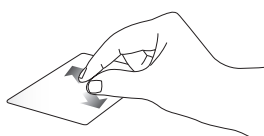
指2本で左右になぞると、ウィンドウが左右にスクロールします。

ズームアウト



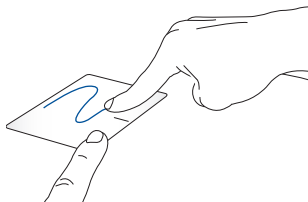
2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン



2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

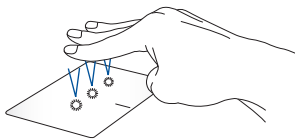
ドラッグ&ドロップ



項目を選択し、クリックしたままにします。もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

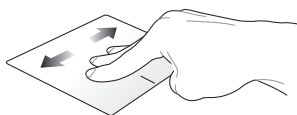
指3本での操作

タップ



指3本でタッチパッド上をタップすると、Cortanaが起動します。

右/左方向になぞる



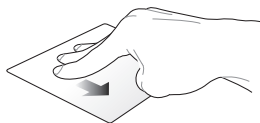
複数のアプリを開いている場合、3本の指を左また右方向になぞると、これらのアプリが切り替わります。

上方向になぞる



上方向になぞると、現在開かれているすべてのアプリの概要が表示されます。

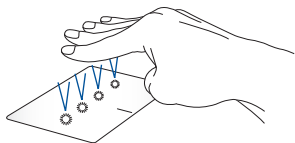
下方向になぞる



下方向にスライドするとデスクトップが表示されます。

指4本での操作

タップ



指4本をタッチパッド上でタップすると、アクションセンターが起動します。

タッチパッドのカスタマイズ



1. アクションセンターの「**すべての設定**」を起動します。
2. 「デバイス」→「マウスとタッチパッド」を選択します。
3. 好みの設定を行ないます。

キーボードを使用する

ホットキー

ホットキーについて説明します。コマンドは、Function キー <Fn>を押しながら、コマンドが表記されたキーを押して実行します



 +  ^{F1} ASUSタブレットをスリープ状態にします



 +  ^{F2} 機内モードのオン/オフを切り替えます。

注意: 機内モード有効時は、すべてのワイヤレス接続が無効になります。

 +  ^{F5} ディスプレイの明るさを下げます。



 +  ^{F6} ディスプレイの明るさを上げます。



 +  ^{F7} ディスプレイパネルのオン/オフを切り替えます



 +  ^{F8} 表示モードを切り替えます。

注意: ASUSタブレットに外付けディスプレイが接続されたときに利用できるコマンドです。

 +  タッチパッドを有効または無効にします。


 +  スピーカーのオン/オフを切り替えます。

 +  スピーカーのボリュームを下げます。

 +  スピーカーのボリュームを上げます。

Windows® 10キー

キーボードには以下の説明のように、2つの特別なWindows® キーがあります。

 スタートメニューの起動

 ドロップダウンメニューを表示します

Chapter 3:

Windows® 10環境で使用する

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 10 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. パソコンの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. 設定画面から本機で使用する言語を選択します。
3. ライセンス条項を読み、内容を確認します。「**承諾する**」を選択します。
4. 画面上に指示に従い、次の各基本設定を行います。
 - 接続する
 - 設定
 - このPC用のアカウントの作成
 - 製品を登録する
5. 基本設定が完了すると、パソコンのセットアップが始まります。
6. セットアップが完了すると、Windows®の操作が開始できます。

注意: 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。

注意: ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

スタートメニュー

スタートメニューでは、プログラムやWindows®アプリ、フォルダー、設定などに簡単にアクセスすることができます。




スタートメニューからできる操作:


- プログラムやWindows®アプリの起動
- 一般的に使用されるプログラムやWindows®アプリの起動
- 本機の各種設定の変更
- Windows® OSのヘルプ
- 本機の電源オフ
- Windows®からのログオフ、または別のユーザーアカウントへの切り替え

スタートメニューを起動する



デスクトップの左下にあるスタートボタン  をタップします。



デスクトップの左下にあるスタートボタン  の上にマウスポインターを合わせ、クリックします。



キーボードのWindows® ロゴキー  を押します。

スタートメニューからプログラムを開く

スタートメニューの最も一般的な用途は、本機にインストールされているプログラムを開くことです。




プログラムをタップし起動します。



プログラムの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。



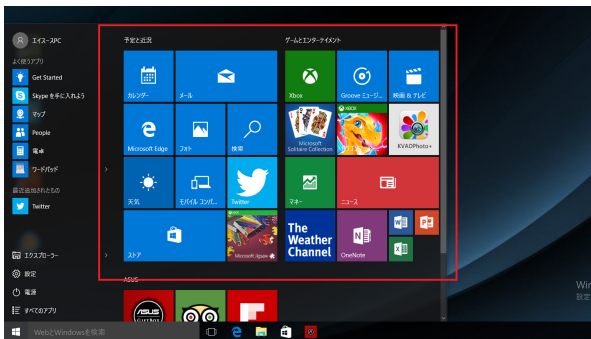
プログラムを参照するには、矢印キーを使用します。  を押し起動します。

注意: 左側のペインの下にある「すべてのアプリ」を選択すると、アルファベット順に本機上のプログラムやフォルダの一覧が表示されます。

Windows® アプリ

これらのアプリはスタートメニューの右側のペインにピン留めされ、タイル形式で簡単にアクセス可能です。

注意: 特定のWindows® アプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。



Windows®アプリと一緒に使用する

タッチスクリーン、タッチパッド、キーボードを使用し、アプリの起動やカスタマイズ、また、アプリを終了することができます。

スタートメニューからWindows® アプリを起動する



アプリをタップし起動します。



アプリの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。



アプリを参照するには、矢印キーを使用します。

 を押して起動します。

Windows® アプリのカスタマイズ

スタートメニューでアプリの移動、サイズ変更、タスクバーからのピン留め、ピン留めの解除などが可能です。次の手順で行います。

アプリの移動




アプリを長押しし、別の場所までドラッグします。



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、ドラッグ&ドロップして起動します。

アプリのサイズ変更




アプリを長押しし、 をタップしアプリサイズを選択します。



アプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックして、「**サイズ変更**」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。



矢印キーでアプリを参照します。 を押し、「**サイズ変更**」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。

ピン留めの解除




アプリを長押しし、 アイコンをタップします。



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「**スタート画面からピン留めを外す**」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。 を押し、「**スタート画面からピン留めを外す**」をクリックします。

タスクトレイにアプリをピン留めする




アプリを長押しし、「その他」→「タスクバーにピン留めする」をタップします。



アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「その他」→「タスクバーにピン留めする」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。  を押し、「その他」→「タスクバーにピン留めする」を選択します。

スタートメニューへのアプリの追加




「すべてのアプリ」から、スタートメニューに追加したいアプリを長押しし、「スタート画面にピン留めする」を選択します。



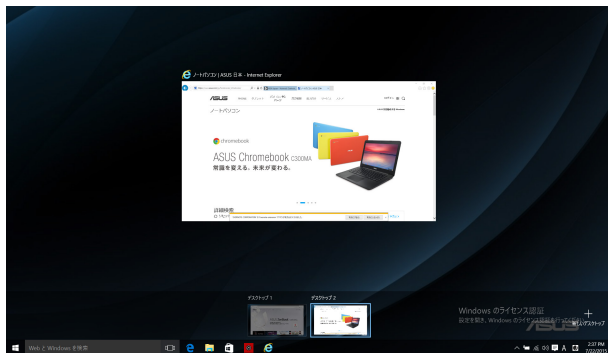
「すべてのアプリ」から、スタートメニューに追加したいアプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックし「スタート画面にピン留めする」をクリックします。



「すべてのアプリ」から、スタートメニューに追加したいアプリの上で  を押し、「スタート画面にピン留めする」を選択します。


タスクビュー

タスクビュー機能では、起動中のアプリとプログラムの切り替えが簡単にできます。また、デスクトップの切り替えも可能です。




タスクビューの起動



タスクバーの  アイコンをタップする、または画面の左側からスワイプします。



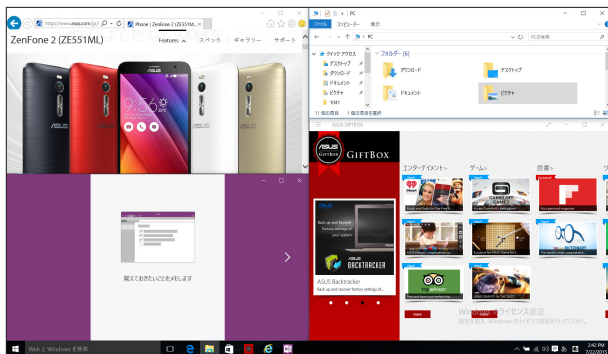
タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインターを合わせ、クリックします。



キーボード上の  +  を押します。

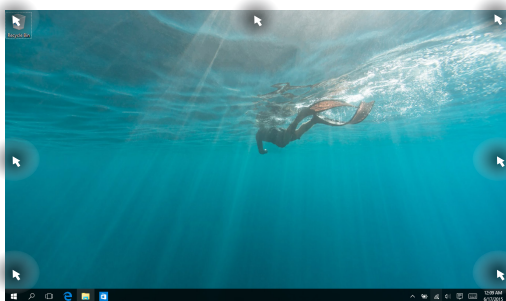
スナップ機能

2つのアプリを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。



スナップホットスポット

ホットスポットにアプリをドラッグ&ドロップし、スナップ表示することができます。



スナップを有効にする




または



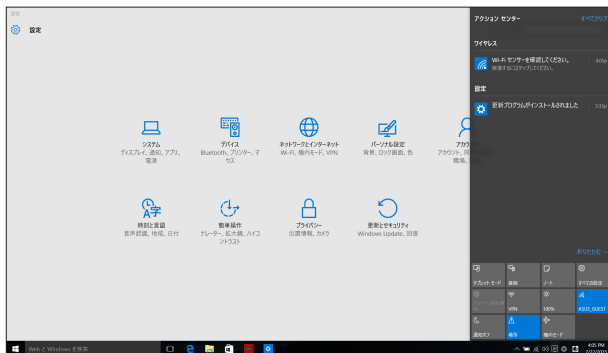
1. アプリを起動します。
2. アプリのタイトルバーをドラッグし、画面の端にアプリをドロップしスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。



1. アプリを起動します。
2.  を長押しし、矢印キーでアプリをスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。


アクションセンター

アクションセンターでは、アプリからの通知が一括表示されます。また、下部には大変便利なクイックアクションセクションがあります。




アクションセンターの起動



タスクバーの  アイコンをタップする、または画面の右側からスワイプします。



タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインターを合わせ、クリックします。



キーボード上の  +  を押します。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows® 10の操作が可能です。



スタートメニューを起動します。



アクションセンターを起動します。



デスクトップを起動します。



エクスプローラーを起動します。



「共有」画面を開きます。



設定を起動します。



「接続」画面を起動します。



ロック画面を有効にします。



アクティブウィンドウを最小化します。



検索を起動します。



「表示」画面を開きます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。



「コンピューターの簡単操作センター」を開きます。



スタートボタンのコンテキストメニューを開きます。



「ナレーターの設定」を開きます。

ワイヤレスネットワークへの接続

Wi-Fi

本機に搭載のWi-Fi機能により、SNSを使用したアプリの共有、メールの閲覧、インターネットサーフィン等がお楽しみいただけます。

重要: 機内モードでは、この機能は無効になります。Wi-Fi接続を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。



Wi-Fi 接続

次の手順でWi-Fi ネットワークに接続します。



または



1. タスクバーの  アイコンを選択します。
2.  アイコンを選択しWi-Fi を有効にします。
3. 利用可能なWi-Fi接続のリストからアクセスポイントを1つ選択します。
4. 「**接続**」を選択し、ネットワーク接続を開始します。

注意: Wi-Fi接続を開始するときに、セキュリティキーの入力が求められる場合があります。

注意: 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

Bluetooth (特定モデルのみ)

Bluetoothデバイス間では、ファイル転送、インターネット接続やネットワーク接続の共有などが可能です。

重要: 機内モードでは、この機能は無効になります。Bluetooth機能を使用する際は、「機内モード」をオフにする必要があります。

Bluetooth対応デバイスとのペアリング

データ転送を可能にするために、他のBluetooth対応デバイスと本機のペアリングを行う必要があります。次の手順で、デバイスを接続します。



または

1. スタートメニューで「**設定**」を起動します。
2. 「**デバイス**」→「**Bluetooth**」の順に選択し、Bluetoothデバイスを検索します。
3. リストからデバイスを選択し、画面の指示に従いペアリングを行います。

注意: 一部のBluetooth対応デバイスでは、本機のパスワード入力を要求される場合があります。


航空機内での使用について

機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。

注意: 多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。


機内モードを有効にする



1. タスクバーから「**アクションセンター**」を起動します。
2.  アイコンを選択し、機内モードを有効にします。

機内モードを無効にする



1. タスクバーから「**アクションセンター**」を起動します。
2.  アイコンを選択し、機内モードを無効にします。



本機の電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機の電源をオフにすることができます。





または



- スタートメニューを起動し、 電源 → 「シャットダウン」を選択し、シャットダウンします。
- ログイン画面で  → 「シャットダウン」の順に選択します。



-  +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「シャットダウン」を選択し、「OK」を選択します。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを長押しし、強制終了することができます。



本機をスリープ状態にする

次のいずれかの手順で本機の電源をスリープ状態にすることができます。





または



- スタートメニューを起動し、 電源 → 「スリープ」の順に選択します。
- ログイン画面で  → 「スリープ」の順に選択します。



 +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「スリープ」を選択し、「OK」を選択します。

注意: また、設定によっては電源ボタンを1度押してもスリープに移行することができます。

Chapter 4: Power-On Self-Test (POST)

Power-on Self Test (POST)

Power-on Self-test (POST) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。

BIOSとトラブルシューティングにアクセスする

POST実行中は、本機のFunctionキー操作でBIOS Setupプログラムへのアクセス、トラブルシューティングの実行が可能です。詳細は以降の記載をご参照ください。

BIOS

Basic Input and Output System (BIOS) はシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。

BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、BIOS Setupを起動するように指示があった場合。
- BIOS設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出る場合があります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

BIOS Setupへのアクセス



システムを再起動し、POST中に  を押します。

BIOS設定

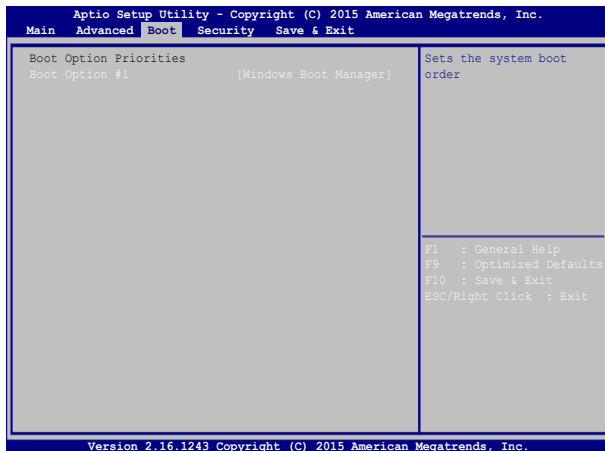
注意:

- 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。実際の画面はモデルや地域により異なる場合があります。
- <Power> + <ボリュームアップ> を押すと <Enter> と同じ動作、<Power> + <ボリュームダウン> を押すと <Esc> と同じ動作を行います。

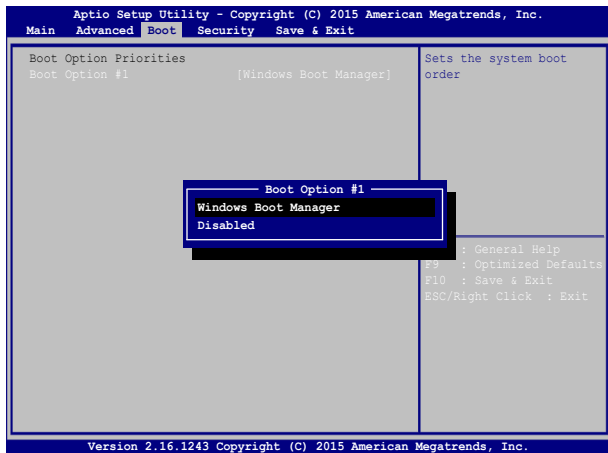
Boot

このメニューでは、ブートオプションの優先順位を設定することができます。次の手順に従って設定します。

1. 「**Boot**」画面で「**Boot Option #1**」を選択します。



2.  を押し、「**Boot Option #1**」のデバイスを選択します。

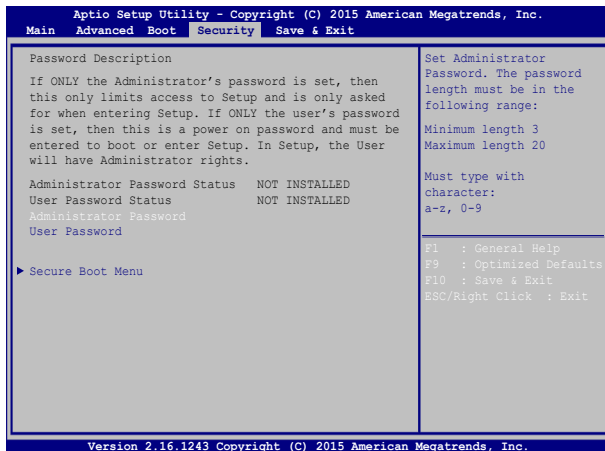


Security



このメニューでは、管理者パスワードとユーザーパスワードを設定することができます。また、タブレットの記憶装置、入力/出力 (I/O) インターフェース、USBインターフェースへのアクセスを制御することもできます。

注意:




- 「**User Password**」を設定すると、OSを起動する際にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。
 - 「**Administrator Password**」を設定すると、BIOSを起動する際にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。
-



パスワードの設定

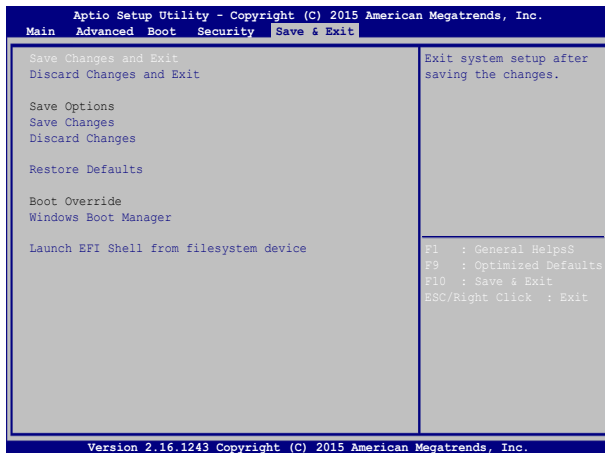
1. 「**Security**」タブを選択し、「**Administrator Password**」または「**User Password**」を選択します。
2. パスワードを入力し、を押します。
3. パスワードを再入力し、を押します。

パスワードを削除する



1. 「**Security**」タブを選択し、「**Administrator Password**」または「**User Password**」を選択します。
2. 現在のパスワードを入力し、を押します。
3. 「**Create New Password**」の欄を空欄にしたまま、を押します。
4. 確認ボックスで「**Yes**」を選択し、を押します。

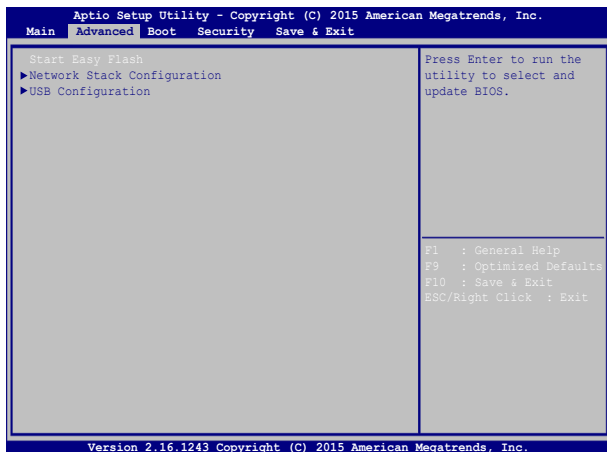
Save & Exit


設定変更を保存するには、BIOSを終了する前に「**Save Changes and Exit**」を選択します。



BIOS更新

1. ASUS公式サイトから本機のモデルを確認し、最新のBIOSファイルをダウンロードします。
2. USBメモリーなどにダウンロードしたBIOSファイルのコピーを保存します。
3. BIOSファイルを保存したデバイスを本機に接続します。
4. 本機を再起動し、POST中に  を押します。
5. BIOSメニューから「**Advanced**」→「**Start Easy Flash**」の順に選択し、  を押します。



6. フラッシュドライブに保存したBIOSファイルを参照し、を押します。



7. BIOS更新後、「**Save & Exit**」→「**Restore Defaults**」の順に選択し、システムにデフォルト設定をロードします。

注意: BIOS更新後、モデルによっては機器がシャットダウンしますが、その場合は、再度、BIOS Setupにアクセスし、項目7の手順でシステムにデフォルト設定をロードしてください。

システムの回復

本機の回復オプションを使用すると、システムを元の状態に復元する、または初期化や、トラブルシュートを実行することができます。

重要:

- 回復オプションを実行する際は、事前にすべてのデータファイルをバックアップしてください。
- ネットワーク設定やユーザー名、パスワードなどの重要な設定は、メモを取る等して大切に保存してください。
- 本機のリセットを行う前に、本機がACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

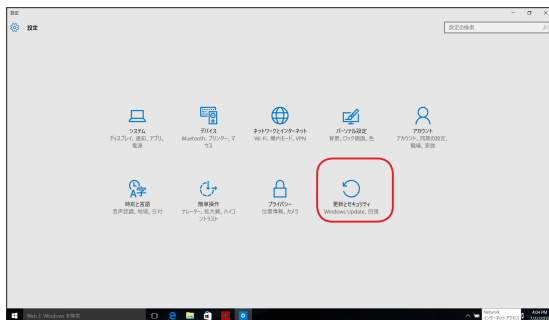
Windows® 10では次のトラブルシューティングを利用することができます。

- **個人用ファイルを保持する** - このオプションは、個人ファイル (写真、音楽、ビデオ、ドキュメント) に影響を与えずにWindowsが再インストールされます。
このオプションを使用すると、本機をデフォルト設定に戻し、インストールした他のアプリを削除します。
- **すべて削除する** - このオプションは、工場出荷時の設定に本機をリセットします。このオプションを実行する際は、事前にデータのバックアップを実行してください。
- **以前のビルドに戻す** - 新しいビルドを適用後に、何か不具合があった場合に、このオプションで以前のビルドに戻すことができます。
- **PCの起動をカスタマイズする** - このオプションを使用すると、次のような高度な回復オプションを実行することができます。
 - 「**トラブルシューティング**」を使用し、次のうちの任意の回復オプションを利用することができます。
システムの復元、イメージでシステムを回復、スタートアップ修復、コマンドプロンプト、UEFI ファームウェアの設定、スタートアップ設定

回復オプションを実行する

次の手順に従って、利用可能な回復オプションを実行します。

1. 「設定」を起動し、「更新とセキュリティ」を選択します。



2. 「更新とセキュリティ」オプションで「回復」を選択し、回復オプションを選択し任意の項目を実行します。



Chapter 5: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- Windows® Update:
定期的にWindows® Update を実行し、Windows®を最新の状態で使用ください。
- アンチウイルスソフト:
ウイルスからパソコンや大切なデータを守るため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。
- 強制終了・停電:
突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- バックアップ:
本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- 環境温度:
高温となる場所でのご使用は控えてください。長期間本機を使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外すことをお勧めします（着脱可能な場合）。
- 本機のリセット:
リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
 - Officeアプリなどプロダクトキーが必要な場合は、そちらのプロダクトキー
 - バックアップデータ
 - ログインIDとパスワード
 - インターネット接続に必要な情報不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

ハードウェアに関するFAQ

1. 液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯(赤、青、緑)している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示(ドット抜け)が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. 液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。FunctionキーまたはOSのディスプレイ設定により画面の調整が可能です。

3. バッテリー駆動時間を長くする方法



以下の方法を推奨します。

- Functionキーで液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- Wi-Fi機能を使用しないときはFunctionキーで「**機内モード**」をオンにします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。



4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック(取り外し可能なモデルのみ)を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. タッチパッドが使用できない

-  +  を押し、タッチパッドの有効/無効の切り替えをお試しください。

6. スピーカーから音が出ない

-  +  を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。

7. 消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法

コールセンターへご連絡、もしくはASUS Shopをご確認ください。



ASUS Shop; <http://shop.asus.co.jp/>

※URLは予告無く変更する可能性があります。

8. ヘッドホン出力用のジャックにヘッドホンなどを接続しても、スピーカーから音が出る

「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」からオーディオマネージャー（モデルにより名称が異なる場合があります）にアクセスし、設定をご確認ください。

9. キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない

- お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。
-  +  を押し、タッチパッドの機能を無効にし、キー入力をお試しください。

ソフトウェアに関するFAQ

1. 電源インジケータは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケータが点灯/点滅せず、本機が正常に起動しない
 - 電源ボタンを長押しし、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
 - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
2. 「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示される
 - USBデバイスが接続されている場合は取り外してください。
 - 光学ドライブ搭載のモデルでは、CDなどが挿入されている場合はそちらを取り外します。
 - それでも起動しない場合は、記憶装置に何らかの問題が発生している可能性があります。コールセンターへご連絡ください。
3. 起動や動作が遅い
 - お買い上げ後にインストールしたアプリなどがありましたら、そちらの常駐の解除をお試しください。
 - 「設定」→「更新とセキュリティ」内の回復オプションから「このPCを初期状態に戻す」→「個人ファイルを保持する」をお試しください。

4. 本機が起動しない/OSが起動しない

- 接続しているUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- 機器本体の温度が上昇している場合は、過熱を防止するための機能が自動的に働いている可能性がありますので、しばらく待ってから再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. スリープ状態/休止状態から復帰しない

- 特定モデルでは、スリープ状態からの復帰には電源ボタンを押す必要があります。電源ボタンを押してください。
- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを長押しし、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 6: 付録

Internal Modem Compliancey

The ASUS Tablet with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria ¹	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark ¹	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands ¹	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html.

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
-

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

Slave Equipment

This device is a slave equipment. This device is not radar detection and not ad-hoc operation in the DFS band.

RF Exposure Warning

This equipment complies with FCC RF exposure limits set forth for an uncontrolled environment. The equipment must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

RF Exposure Information (SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found at www.fcc.gov/general/fcc-id-search-page after searching on FCC ID.

This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

CE Mark Warning

This device complies with the R&TTE Directive 1999/5/EC (replaced in 2017 by RED 2014/53/EU), the EMC Directive 2004/108/EC (replaced in April 2016 by 2014/30/EU), and the Low Voltage Directive 2006/95/EC (replaced in April 2016 by 2014/35/EU) issued by the Commission of the European Community.

Countries where the device will be sold to:

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR



RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 50566 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1:2013 and/or EN 50332-2:2013 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

Caution

(i) the device for operation in the band 5150-5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems;

(ii) the maximum antenna gain permitted for devices in the bands 5250-5350 MHz and 5470-5725 MHz shall comply with the e.i.r.p. limit; and

(iii) the maximum antenna gain permitted for devices in the band 5725-5825 MHz shall comply with the e.i.r.p. limits specified for point-to-point and non point-to-point operation as appropriate.

(iv) Users should also be advised that high-power radars are allocated as primary users (i.e. priority users) of the bands 5250-5350 MHz and 5650-5850 MHz and that these radars could cause interference and/or damage to LE-LAN devices.

(v) the worst-case tilt angle(s) necessary to remain compliant with the e.i.r.p. elevation mask requirement set forth in Section 6.2.2(3) shall be clearly indicated.

Avertissement

Le guide d'utilisation des dispositifs pour réseaux locaux doit inclure des instructions précises sur les restrictions susmentionnées, notamment :

(i) les dispositifs fonctionnant dans la bande 5 150-5 250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux;

(ii) le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5 250-5 350 MHz et 5 470-5 725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.;

(iii) le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5 725-5 825 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.

(iv) De plus, les utilisateurs devraient aussi être avisés que les utilisateurs de radars de haute puissance sont désignés utilisateurs principaux (c.-à-d., qu'ils ont la priorité) pour les bandes 5 250-5 350 MHz et 5 650-5 850 MHz et que ces radars pourraient causer du brouillage et/ou des dommages aux dispositifs LAN-EL.

(v) les pires angles d'inclinaison nécessaires pour rester conforme à l'exigence de la p.i.r.e. applicable au masque d'élévation, et énoncée à la section 6.2.2 3), doivent être clairement indiqués.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: on private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier
05 Hautes Alpes	08 Ardennes	09 Ariège
11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire
41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche
55 Meuse	58 Nièvre	59 Nord
60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire
75 Paris	82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse
88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne		

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.arcep.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the ASUS Tablet modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the ASUS Tablet near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the ASUS Tablet during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the ASUS Tablet in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- DO NOT dispose the ASUS Tablet battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- DO NOT use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSEL! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

WARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suosittellemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistajan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумуляторного типа возможного возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

CD-ROM Drive Safety Warning CLASS 1 LASER PRODUCT

WARNING! To prevent exposure to the optical drive's laser, do not attempt to disassemble or repair the optical drive by yourself. For your safety, contact a professional technician for assistance.

Service warning label

WARNING! INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

WARNING! Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

CTR 21 Approval (for ASUS Tablet with built-in Modem)

Danish

•Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.•

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.”

English

“The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.”

Finnish

”Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan.”

French

•Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.•

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzanschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden.“

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμένου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αθ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

•La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

•Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

•Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.»

Japanese

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

ENERGY STAR complied product



ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep within 10 and 30 minutes of user inactivity. Users could wake your computer through click the mouse, press any key on the keyboard, or press the power button. Please visit <http://www.energystar.gov/powermanagement> for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit <http://www.energystar.gov> for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based operating systems.

技適マーク

本機搭載の内蔵無線LANモジュールは、下記の通り技適マークを取得しています。



☎ 003-150189
☎ D150133003

日本国内での無線周波数帯のご利用について

電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなる場合があります。ご注意ください。



電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています (入出力ポート搭載部分を除く)。

